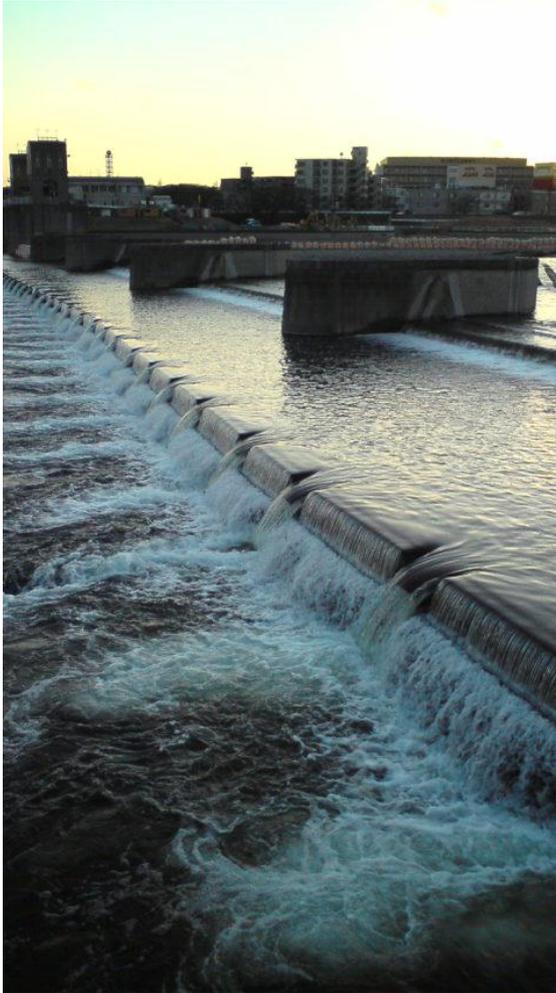


70 ニヶ領宿河原堰

まちづくり



受賞者：なし
 推薦者：松井 宣夫 さん

【推薦コメント】

こどもが小さかった頃は、多摩川の堰に連れて遊びに来ていました。今でも散歩コースのひとつとして、しばしば訪れます。平成11年に現在の形状に工事されたようです。魚道も設置されており、多摩川の自然に溶け込んでいると思います。

【講評】

昭和49(1974)年9月に台風の影響で、多摩川の上流に降り続く雨が激流となって流れ、水位は急速に上昇しました。そして、その激流がニヶ領宿河原堰に妨げられ、狛江市猪方地先の堤防を破壊、民家が流されるという大災害が発生しました。

洪水時に流れる水を阻害しないような構造とすることを目的に、ニヶ領宿河原堰は平成11年3月に現在の姿に造り変えられました。江戸前アユ等の魚がのぼりやすい川づくりを目標とし、魚道も1箇所から3箇所に増やされました。また、多摩川の川面から出ているコンクリート堰の構造物表面がレンガ調に仕上げられており、多摩川の自然と調和していると考えられます。すぐ近くに「多摩川決壊の碑」があり、ベンチも設置されていますので、休憩場所としても最適のスポットかもしれません。